

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 全産業活動指数(2011年2月)

発表日2011年4月25日(月)

～2ヶ月振りのプラスも、3月は大幅悪化の見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 小杉 晃子

T E L : 03-5221-4548

(単位: %)

		全産業活動指数									
				第3次産業活動指数		鉱工業生産指数		公務等活動指数		建設業活動指数	
		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
09	1-3月	▲ 6.3	▲ 11.1	▲ 3.1	▲ 6.6	▲ 20.0	▲ 34.6	0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.1
	4-6月	1.1	▲ 9.3	▲ 0.6	▲ 6.1	6.5	▲ 27.4	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 2.0	0.1
	7-9月	1.1	▲ 7.0	0.6	▲ 4.7	5.3	▲ 19.4	0.1	0.7	▲ 6.2	▲ 6.4
	10-12月	0.1	▲ 3.7	▲ 0.3	▲ 3.4	5.9	▲ 4.3	0.0	0.1	▲ 5.3	▲ 13.5
	10-12月	0.1	▲ 3.7	▲ 0.3	▲ 3.4	5.9	▲ 4.3	0.0	0.1	▲ 5.3	▲ 13.5
10	1-3月	1.3	3.9	0.7	0.8	7.4	28.0	▲ 0.4	▲ 0.5	0.7	▲ 12.4
	4-6月	0.8	3.5	0.4	1.4	0.7	21.3	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 11.3
	7-9月	0.7	3.2	0.6	1.8	▲ 1.0	14.0	0.0	▲ 0.6	1.9	▲ 3.2
	10-12月	▲ 0.2	2.1	0.3	1.6	▲ 0.1	5.9	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 1.8	▲ 0.6
	10-12月	▲ 0.2	2.1	0.3	1.6	▲ 0.1	5.9	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 1.8	▲ 0.6
09	1月	▲ 1.3	▲ 9.0	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 8.4	▲ 30.9	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 1.5
	2月	▲ 3.7	▲ 12.5	▲ 0.7	▲ 7.4	▲ 8.6	▲ 38.6	0.3	0.8	▲ 0.1	▲ 1.1
	3月	▲ 1.0	▲ 11.7	▲ 3.4	▲ 7.7	2.2	▲ 33.8	0.2	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.9
	4月	2.4	▲ 10.0	2.0	▲ 6.2	4.5	▲ 31.0	▲ 0.6	▲ 0.9	0.2	0.9
	5月	0.9	▲ 10.0	▲ 0.2	▲ 7.1	4.6	▲ 29.0	0.5	1.2	▲ 1.6	1.0
	6月	0.3	▲ 7.9	0.2	▲ 5.1	1.5	▲ 22.5	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 2.5	▲ 1.3
	7月	0.5	▲ 8.0	0.5	▲ 5.3	1.1	▲ 22.3	0.2	0.6	▲ 2.5	▲ 3.5
	8月	0.0	▲ 6.3	0.2	▲ 4.1	1.5	▲ 18.3	▲ 0.2	0.4	▲ 1.5	▲ 6.5
	9月	0.1	▲ 6.7	▲ 0.3	▲ 4.7	1.8	▲ 17.5	0.1	1.3	▲ 1.9	▲ 8.8
	10月	0.2	▲ 6.1	0.2	▲ 4.4	1.5	▲ 14.4	▲ 0.2	0.5	▲ 1.0	▲ 10.5
	11月	▲ 0.2	▲ 3.3	▲ 0.2	▲ 3.0	2.6	▲ 2.9	0.2	▲ 0.5	▲ 3.6	▲ 14.5
	12月	▲ 0.3	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 2.7	2.6	6.4	0.2	0.3	▲ 0.4	▲ 15.3
10	1月	1.7	2.1	1.9	0.2	3.4	18.2	▲ 0.7	0.2	0.7	▲ 14.4
	2月	▲ 0.1	4.5	▲ 0.4	0.4	1.7	33.1	0.2	▲ 0.4	4.0	▲ 9.6
	3月	▲ 0.2	5.1	▲ 1.1	1.9	0.1	32.4	▲ 0.1	▲ 1.3	▲ 3.6	▲ 13.0
	4月	0.9	4.3	1.6	1.9	0.6	27.0	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 3.1	▲ 17.0
	5月	0.0	3.4	▲ 0.3	1.2	▲ 0.1	20.7	0.0	▲ 0.9	6.3	▲ 8.1
	6月	0.2	3.0	0.1	1.0	▲ 1.5	16.6	▲ 0.1	▲ 0.7	▲ 2.1	▲ 8.3
	7月	1.1	3.3	0.7	1.6	0.3	14.6	0.1	▲ 0.1	0.8	▲ 5.3
	8月	▲ 0.5	3.8	0.1	2.3	▲ 0.1	15.5	0.1	▲ 1.1	1.6	▲ 1.7
	9月	▲ 0.4	2.7	▲ 0.4	1.3	▲ 0.8	12.1	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 1.9	▲ 2.8
	10月	0.0	1.3	0.2	0.5	▲ 1.4	5.0	▲ 0.1	0.3	0.1	▲ 1.1
	11月	0.3	2.7	0.6	2.5	1.6	7.0	▲ 0.4	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 0.5
	12月	0.1	2.1	▲ 0.2	1.8	2.4	5.9	0.3	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 0.5
11	1月	▲ 0.5	1.4	▲ 0.1	1.1	0.0	4.6	0.0	▲ 0.5	2.3	1.3
	2月	0.7	1.8	0.8	2.0	1.8	2.9	0.5	0.0	1.6	▲ 0.3

(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

○ 全産業活動指数：前月比+0.7%

2月の全産業活動指数は前月比+0.7%と、コンセンサス（同：▲0.1%、レンジ：同▲2.0%～+1.3%）を上回る結果となった。第3次産業活動指数や鉱工業生産指数が改善したことなどから、全体では2ヶ月振りにプラスに転じた。

内訳別にみても、第3次産業活動指数（前月比寄与度：+0.53%ポイント）をはじめ、鉱工業生産指数（同：+0.33%ポイント）、建設業活動指数（同：+0.07%ポイント）、公務等活動指数（同：+0.06%ポイント）と、すべての産業で上昇している。

年間補正による季節調整のかけ直しにより、結果に振れが生じている可能性があることには注意が必要だが、2月の時点では、全産業活動指数は緩やかな回復傾向にあったことが示唆された結果といえよう。

○ 鉱工業生産指数、第3次産業活動指数ともに改善

個別にみると、鉱工業生産指数は前月比+1.8%であった。情報通信機械などはマイナス寄与となったものの、エコカー補助金制度終了に伴う自動車減産の動きが一巡したことや輸出の持ち直しなどを背景に輸送機械や一般機械、鉄鋼、化学などが上昇したことがプラスに寄与した。

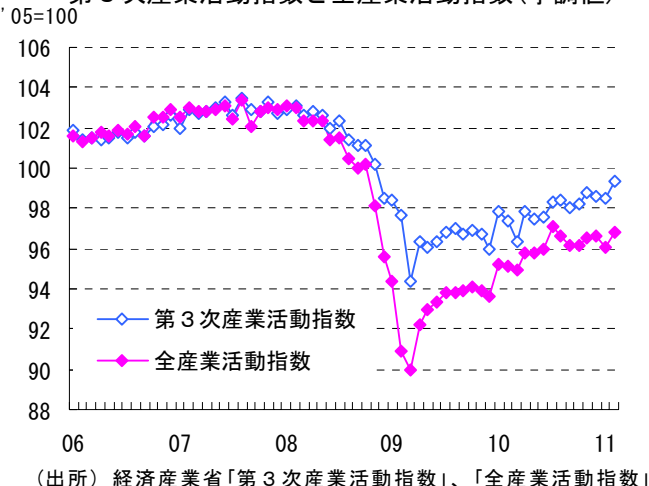
また、第3次産業活動指数も、3月末のエコポイント制度終了を前にした駆け込み需要などから、卸売業、小売業などの活動が改善したことなどを受け、全体では前月比+0.8%と3ヶ月ぶりにプラスとなった。

さらに、建設業活動指数も公共投資の増加などを背景に前月比+1.6%と2ヶ月連続のプラスとなった。先行指標とされる公共工事請負金額の動向や被災した社会資本の復旧などを考慮すると、先行き公共投資は徐々に増加していく可能性が高い。

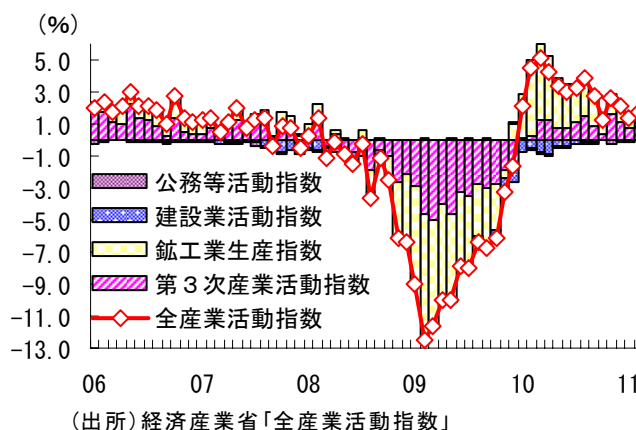
○ 震災の影響を受け、3月は大幅悪化が見込まれる

このように、輸出や生産の持ち直しなどを背景として、景気は、2月の段階では踊り場を脱し、緩やかな回復に向かいつつあった。だが、今回の結果はあくまで震災発生前のものであり、3月には大幅悪化が見込まれる。震災に伴うサプライチェーン寸断や電力不足の影響などから足もとの輸出は停滞の動きが強まってきており、今後はこうした輸出の停滞に加え、サプライチェーンの滞りを通じた生産活動の抑制や消費者マインドの悪化による消費の落ち込みなどが懸念される。当面の経済活動は停滞を余儀なくされよう。

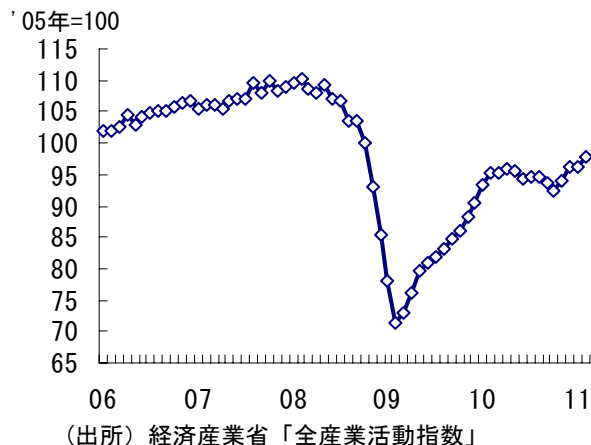
第3次産業活動指数と全産業活動指数(季調値)



全産業活動指数前年比寄与度分解



鉱工業生産指数(季調値)



公共工事請負金額(前年比、%)

